

# みんなで子育て

西濃県務所 振興防災課 振興防災係

家庭教育担当：酒井 俊巨

電話：0584-73-1111 <内線212>

バックナンバーはこちら ⇒



## 海津市立大江小学校

### 学習者用端末を使った家庭教育学級

令和3年6月19日（土）

11:25~11:35 一人一台タブレット端末時代の情報モラル

11:40~12:10 学年ごとにオンライン学習+授業参観



「GIGA スクール構想」によって配備されたタブレット端末を自宅に持ち帰って活用する場面が増えることにより、情報モラルを意識する機会が増えてきます。しかし、配付されたタブレットが家ではゲーム機のような扱われ方をされ、幼少期から1日1時間程度の運動をする割合が減るなど、健康面への心配がでてきました。

大江小学校では、児童が自宅に持ち帰ったタブレットを使って、「学校と家庭が事前に共有すること」をテーマとした家庭教育学級を、学校長が講師となって行いました。また、自宅にいる児童が学年ごとの「クラスルーム」に入り、オンラインでの学習を行い、保護者が自宅でその様子を参観しました。

子どもに配備されたタブレットでどんなことができるのか、家庭でどんなことに注意するとよいのか、夏休みにタブレットを持ち帰る前に確認できました。

児童が端末を扱う際のルールとの共有

- 使用時間を守る。
- 端末、アカウント(ID)、パスワードを適切に取り扱うこと  
→貸さない →教えない
- 不適切なサイトにアクセスしない。
- 端末を使用するときは、落としたり、濡らしたりしない。
- 学習に関係のない目的で使わない。

等

学校・家庭での健康面へ配慮した使用

- 端末の画面との距離を30cm以上離す。
- 長時間にわたって継続して画面を見ないように、30分に1回は、20秒以上、画面から目を離して、できるだけ遠くを見るなどして、目を休める。
- 就寝1時間前からはICTの利用を控える。  
(睡眠前に強い光を浴びると、入眠作用があるホルモン「メラトニン」の分泌が阻害される)

等

家庭教育で教え、育むこと

今回はこれ！

基本的な生活習慣	自立心
自制心	善悪の判断
挨拶及び礼儀	思いやり
命の大切さ	家族の大切さ
社会のルール	

## オンラインによる分散開催

### 養老郡養老町 PTA 連合会研究大会

令和3年6月26日（土） 13:30~15:30

会場：養老町各小中学校 養老町役場より ZOOM 配信



養老郡町 PTA 連合会は、コロナ禍で多人数による会議が難しくなったため、郡 PTA 予算で各校に Web カメラとスピーカーフォンを購入・設置し、その利用により PTA 評議員会を ZOOM 開催としました。

また、より多人数になる今回の研究大会では、養老町役場がホスト役となり、講師は兵庫県から ZOOM で参加しました。各小中学校の役員さんは、それぞれの学校に集まり、9会場で講話を聞きました。講話の後は、各校ごと PTA の皆さんが感想交流をしました。この方法により、今後も、コロナ禍での会議等が持続可能となります。

- 1 開会の言葉・主催者挨拶
- 2 実践発表 笠郷小学校PTA・日吉小学校PTA
- 3 講演「学校で配慮と支援が必要なLGBTsの子どもたち」  
講師：宝塚大学看護学部教授、日本思春期学会理事、  
厚生労働省エイズ動向委員会委員 日高 庸晴 様
- 4 主催者挨拶・閉会の言葉
- 5 各校で感想交流

大垣市立西小学校 家庭教育学級

## おにぎらず



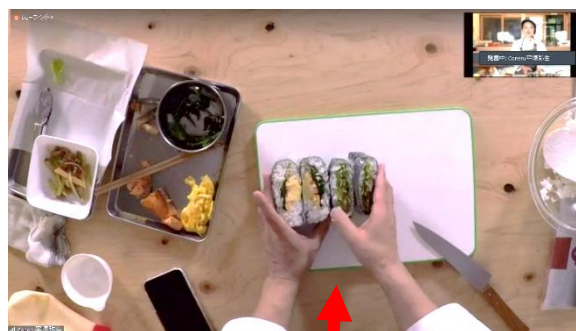
【体験活動参加】ZOOMによる配信  
令和3年6月26日(土) 11:00~12:30

【講師】Coreru 平塚 弥生 様

- ・子ども達がやることに対して、「だめ」と言わないようにしましょう。
- ・子ども達がこれからやることについて、「ちがう」ということはありません。
- ・おにぎらずを誰に作るか考えて、その人のために作りましょう。



配信中の画面です。上から撮っているので、手順がよく分かります。料理番組のようですね。



## 「一歩前進」

- ・各家庭で、事前に、おにぎらず用の赤、緑、黄色の食材を用意しました。講師の方は、赤：紅鮭、緑：ほうれん草のお浸し、黄色：卵焼きを用意して作りました。
- ・おにぎらずの講師の実演を見た後、30分間が作る時間でした。その間、各家庭は、おにぎらずを作りながら、講師への質問があれば、音声をオンにして聞きました。
- ・一緒に「いただきます」をしてから、それぞれのおにぎらずの断面を見せて、使った食材、だれのために作ったか、また、「レタス山もり」「もりもりおにぎり」などのおにぎらずにつけた名前を発表しました。
- ・また、食べた感想を「おいしい」以外の言葉で伝えました。「ジューシーです。」「パリパリです。」「サーモンの溶けた醤油がご飯にしみていて最高です。」「チーズとご飯が合う。」「オクラと焼き肉の組み合わせ最高。」などなど、いろいろな表現が生まれました。「自分のために作ったけど、おいしいからお母さんにも作ってあげたい。」という感想もありました。

家庭教育で教え、育むこと

今回はこれ！

基本的な生活習慣 自立心

自制心

善悪の判断

挨拶及び礼儀

思いやり

命の大切さ

家族の大切さ

社会のルール

## リアルタイムでつながる楽しさ

同じ時間に一緒に調理し、一緒に食べるという共有感、質問や感想がすぐ言えるという即時性。コロナのためにできなくなってしまっていた体験活動参加型の家庭教育学級ですが、双方向通信サービスを利用することによって実現することができました。



# パパママも学ぼう 今年の家庭教育学級！

小島公民館では、家庭教育学級を地域づくりの土台と考えています。  
地域で仲間の輪を広げられるように、家庭教育学級にご参加ください！



いきいき育て、学びあい、高めあい、仲間づくり！  
親が学ぶ姿は、子どもにも伝わります。

揖斐川町立小島小学校の家庭教育学級は、小島公民館が主体となって運営されています。保護者には、児童の小学校入学時に家庭教育学級への誘いがあります。そして、小学校の家庭教育学級委員、家庭教育学級のOBである子育て応援団、防災士の方々と連携し、多彩な活動を行います。コロナ禍のため、在宅型が増えても、地域ぐるみの多彩な家庭教育学級は広がっています。

## 令和3年度 小島家庭教育学級《年間計画》

今年度は、特に防災をテーマにしています。

回	開催日	学習内容
研修	5月12日 (金)	西濃地区家庭教育学級リーダー研修会 ※コロナ感染症拡大防止のため、「在宅型」の研修会に変更となりました。
1	6月30日 (水)	<b>お茶摘みと朴葉寿司</b> 小島で茶畑を営む橋本さん宅の無農薬のお茶を摘み取り、じっくりお茶づくりの工程を楽しみましょう。また、この季節の楽しみ、「朴葉」を使って、簡単朴葉寿司を作ります。体によい食について、考えてみましょう。 ※コロナ禍ですので、人数限定で開催予定です。
2	夏休み中 在宅型	<b>家族みんなで取り組む防災①「家族で語ろう」</b> あなたの家では、防災に向けて家族で話し合いをしていますか？防災リュックの中身の確認、備蓄リストの確認、避難経路の確認、防災クッキングなど、どんな題材でもOK！ 防災に向けたユーチューブを家族で見ること一步です。家族で取り組んだことをカードに記入し、それをみんなで共有することも計画しています。
3	夏休み中	<b>家族みんなで取り組む防災②「防災クッキング」</b> いざという時に困るのが、食べること。今回、小島地区の防災士チームの皆さんのご協力を得て、防災クッキングの実習をコミセンのキッチンで開催します。知っていれば、安心です、親子でご参加ください。 ※日程と内容は、夏休み前に案内。
4	10月上旬	<b>子どもたちと稲刈り&amp;新米のおにぎり</b> 小島の学習田で4年生の子どもたちが、米づくりを学んでいます。稲刈り時に、その体験のお手伝いをしませんか。 子どもたちだけでなく、大人も一緒になって、美味しい小島米を伝承していきましょう。
5	冬休み 在宅型	<b>家族みんなで取り組む防災③「防災グッズ」</b> 我が家の持ち出し袋は、何が入っている？この機会に、家族で点検、必要なものは何かを話し合ってみよう。
6	2月中旬	<b>「いつか君の花明かりには」 映画上映会</b> 防災啓発ドキュメンタリー映画 愛着ある町、親しい友人、大好きな家族、大切なものを守るために防災はしたくなる。 日本全国に散らばる「防災の声」を集めた47分間の映画 小川監督の講演会とあわせて実施します。 ※一般の方にも、開放します。

※内容は、変更になる場合があります。毎回、事前にご案内し参加者を募集します。(在宅型は全家族対象)

毎年、防災の活動を行っています。今年は、集まることができないため、在宅取組が中心です。

### 「一歩前進」

- 小島地区では、乳幼児学級への参加の時から保護者のつながりは始まっています。小学校の家庭教育学級や公民館主催の行事や活動を通して、さまざまな人が協力者としてつながり、小島地区のまちづくりが進んでいます。

家庭教育で教え、育むこと

今回はこれ！

基本的な生活習慣 自立心  
自制心 善悪の判断  
挨拶及び礼儀 思いやり  
命の大切さ 家族の大切さ  
社会のルール

お茶摘みは都合により中止。その代わりに、畑でズッキーニ、ミニトマト、キュウリ、パセリなどを収穫しました。また、大量に収穫したバジルを使って、バジルソースを作りました。



近くの学校田では、小学生が泥んこ遊びをした後、田植えをしました。この畑も地域の方が管理しています。



朴葉寿司は、焼鮭やキュウリ、生姜などを乗せて、朴の葉でくるみます。朴葉には、抗菌作用があります。作った朴葉寿司は、家庭へ持ち帰りました。



大垣市立宇留生小学校 成人・家庭教育学級

# もっと知りたい！ 宇留生小シリーズ

【在宅取組型】令和3年 5月～12月



家庭教育で教え、育むこと

今回はこれ！

基本的な生活習慣 自立心

自制心 善悪の判断

挨拶及び礼儀 思いやり

命の大切さ 家族の大切さ

社会のルール

## 「一歩前進」

- ・ コロナ禍で、保護者が学校内に入ることもできなかった昨年度。「学校の様子が分からない」「自分の子どもの様子が分からない」「友達関係も分からない」という不安を解消するために、宇留生小学校に興味をもち、知ってもらうとともに、この活動を通して親子の会話を増やしたいという成人・家庭教育学級長さんの願いから、4回のシリーズとなりました。
- ・ 昨年度の12月から委員の方と ZOOM、ライン、メールで連絡を取り合い、活動計画を作成し、4月中旬には、保護者の方に案内をしました。
- ・ どのような状況になっても開催できるように、すべて「在宅取組型」で計画しました。在宅の内容によって対象の学年を分け、学校との連携をとって進めています。



給食参観が中止となり、子どもたちの給食の様子をみる事ができないため、給食時の写真を教頭先生に撮ってもらい、それをタイムスケジュールにして、保護者に知らせました。

### 給食時間の過ごし方

## 成人・家庭教育学級のご案内

新しい生活様式の中、家庭で子どもと過ごす時間がより楽しいものになるようにと、計画いたしました。ぜひお子さんと一緒に取り組んでみてください。

学級目標 【やってみよう！いきいき楽しい親子時間】

5月26日(水)  
もっと知りたい！宇留生小シリーズ①  
『宇留生小学校探検クイズ』

答えを知っているのは子どもたち？！  
あなたは何問正解できるかな？

9月30日(木)  
3・4年生用  
もっと知りたい！宇留生小シリーズ③  
『シェイクアウト・命を守る訓練  
～見直そう、我が家の防災～』

いざという時について、  
家族で話し合ってみよう

6月30日(水)  
1・2年生用  
もっと知りたい！宇留生小シリーズ②  
『くらべてみよう！ごはんのじかん  
がっこうとおうち』

保護者の疑問！  
「給食の時間は、  
どうやって過ごしているのかな？」  
に答えます

11月30日(火)  
5・6年生用  
もっと知りたい！宇留生小シリーズ④  
『私は家族の〇〇委員です！』

子どもたちが家庭の中で、  
どんな役割を担うことができるのか考えよう

7月20日(火)  
『我が家の約束運動』

実践カードを使って、家族で取り組んでみよう

12月4日(土)  
うたごえフェスタ運動企画  
『こむすびの日』

12月14日(火)  
『親子で作ろう！  
クリスマスオーナメント』

☆プラ板を配布します  
オリジナルのオーナメントを作ってみよう

アンケートにご協力お願いします。お手持ちのスマホ等より下記 QR コードを読み取っていただき、ご回答ください。QR コードが読み取れない等で用紙回答される方は、担任の先生に提出してください。

- 楽しく取り組みましたか？
- この活動を通じて親子の会話は増えたか？
- 誰が取り組みましたか？( 父 母 子 祖父母 その他 )複数回答可
- 宇留生小について、理解が深まりましたか？

ご意見・ご感想など



締切日  
令和3年7月20日

PTA の願いである「活動を通じて、親子の会話が aumentata か」「宇留生小についての理解が深まったか」という項目でアンケートをとり、次回に生かしています。グーグルフォームの活用により、アンケートの集計・グラフ化がすぐにできます。

# 令和3年度 西濃地区家庭教育学級リーダー研修会

## QRコードから動画視聴・資料確認

### 初めての「在宅型」研修 アンケート結果 多数のご参加、ありがとうございました。

【参加人数】			
	令和元年 (会場開催)	令和3年 (在宅開催)	増減
小・中の部			
保護者	125	219	94
学校関係者	100	82	-18
	令和元年 (会場開催)	令和3年 (在宅開催)	増減
幼・保の部			
保護者	131	136	5
園関係者	44	36	-8

保護者の参加が増えています。会場開催では、小・中の保護者1名の参加が原則でしたが、今回の在宅開催で大幅に増えました。幼・保の保護者は複数参加されていたので、あまり変化はありませんでした。

学校・園関係者の参加が減りました。これは、学校・園の勤務時間中に研修ができなかったことによるようです。

働く身としては、研修会がオンラインだと子ども達を寝かしつけた後に受講ができるので助かります。コロナがきっかけでしたが、是非この形を続けてほしいと思いました。  
(幼保保護者)

会場開催は、決められた日にちに仕事などで行けなかったりします。在宅型は見られる時に見ることができるのでとてもいいと思います。  
(小学校保護者)

学校で研修をしようとしたとき、学校のタブレットやパソコンでは、制限がかかり視聴できなかったり、プレゼン動画が作成者の制限によって、パソコンで視聴できたり、できなかったりするものがあり困惑しました。学校のパソコンでも視聴できるようにしていただけるとありがたいです。  
(小学校関係者)

#### 【動画視聴回数】

1 「みんなで家庭教育！」 岐阜県 環境生活政策課 (視聴回数 1,112回)

#### 2 実践発表

- ・ 神戸町立下宮幼稚園 (視聴回数 145回)
- ・ 海津市認定こども園石山保育園 (視聴回数 198回)
- ・ 揖斐川町立谷汲小学校 (視聴回数 285回)
- ・ 大垣市立星和中学校 (視聴回数 309回)

動画1つ1つが10分程度で、短くて頭に入ってきやすい。長い時間かかるのかなと思っていたけど、10分程度の動画なら、何個でも見ることができました。  
(中学校保護者)

3 「持続可能な家庭教育学級」 西濃県事務所 振興防災課 (視聴回数 464回)

会場開催となると、移動時間があるし、聞き逃した場合は聞き返すことができません。YouTubeでしたら自分の都合の良い時間帯や何度でも視聴ができるという点で素晴らしい取り組みだと思いました。  
(幼保保護者)

初めて在宅型研修に参加させて頂きました。会場の研修とは違い、動画なので何度も見返す事ができる点、コロナ禍で感染の恐れが回避でき、都合の良い時間に研修できるので効率も良く、研修はこれでいいかと思いました。ありがとうございました。  
(小学校保護者)



## 【アンケート結果】

小中の部	「みんなで家庭教育！」（県説明）のプレゼン動画はいかがでしたか。	ご覧になった実践発表のプレゼン動画はいかがでしたか。	「持続可能な家庭教育学級」（西濃説明）のプレゼン動画はいかがでしたか。	今回の配布資料はいかがでしたか。	このような「在宅型」研修はいかがでしたか。
ア) 満足	46.8%	52.8%	48.2%	49.2%	58.1%
イ) おおむね満足	51.8%	46.5%	50.2%	47.5%	39.5%
計	98.7%	99.3%	98.3%	96.7%	97.7%
幼保の部	「みんなで家庭教育！」（県説明）のプレゼン動画はいかがでしたか。	ご覧になった実践発表のプレゼン動画はいかがでしたか。	「持続可能な家庭教育学級」（西濃説明）のプレゼン動画はいかがでしたか。	今回の配布資料はいかがでしたか。	このような「在宅型」研修はいかがでしたか。
ア) 満足	53.8%	63.0%	56.1%	56.1%	65.9%
イ) おおむね満足	43.4%	37.0%	42.2%	38.2%	30.1%
計	97.1%	100.0%	98.3%	94.2%	96.0%

「みんなで家庭教育！」は、何故、家庭教育に取り組みたいかが大切なのかを明確に分かりやすくまとめられていたので、初めてPTA役員（特に会長、家庭教育学級長や副学級長になった人）にとって、とても良い資料だと思いました。  
（幼保保護者）

熱意溢れる他園の取り組みを拝見しとても感動しました。コロナ禍でなかなか思うように開催できない事が多いのですが、保護者会と連携しながら、我が園でも可能な取り組みの方法を検討し、進めてまいりたいと思います。  
（幼保関係者）

コロナで子どもたちが楽しみにしている行事が少なくなり、親子共に残念だと思っておりましたが、在宅でもできる取り組みもたくさん例に出して教えて頂き、参考になりました。ハイブリッド型家庭教育の取り組みもおもしろいと思いました。子どもが学校で教わったことを、自宅で取り組む（マスク入れ、おりがみ等）のも、いいなと思いました。  
（中学校保護者）

配布された資料も落ちていて目を通すことができて、在宅型で良かったと思いました。配布された資料は、子供との関わり方について考えさせられる内容であり、特に「この子どもと一緒に何しよう」は、特別なことをしなくても日常生活の中で繰り返されていることを子どもと一緒にやることで絆作りになることがわかりました。  
（幼保保護者）

自分で時間を選んで研修できるのは、画期的な発想転換。研修内容がより多くの人に周知できる可能性が広がったと思います。  
（小学校関係者）

## くリーダー研参加者ではなく、一般用(簡易版)資料で参加していただけただ保護者の声

在宅開催ならではの  
つながりが生まれ、  
うれしく思いました。



今まではリーダー研と聞いても、どこか他人事で、そのような立場で無ければ関係無いものと思っていました。今回のような機会がなければ今後も同じ考えであったと思います。最初の県説明でもあったように、研修会を見る事でこれからの家庭生活でプラスになることはあると思います。動画を短い時間で分けていただいた事で、未就園の下の子供がいても隙間時間を使いながら見る事が出来ました。30分にまとめてあった場合、見ることは無かったと思います。(小学校保護者)

- ・コロナ禍で集まることへの心配や会場への移動時間を考えず、自宅で都合のよい時間にできる在宅型研修の実施継続を望む声が多数ありました。会場開催では仕事や子育て等で参加できなかった方に、多数参加していただけました。一方、会場開催や ZOOM 等を使用し、顔を合わせての意見交流を望む声がありました。
- ・家庭教育学級の年間計画を作成する時期、3月末から4月初旬に行ってほしいとの声がありました。
- ・コロナ禍での家庭教育学級の取組の実践発表（在宅取組型、オンラインとのハイブリッド型）が聞きたいとの声がありました。
- ・スマートフォンの機種やアプリによって、QR コードが読み取れないことがありました。家族のスマートフォンを借りたり、アプリを入れ直したりして視聴していただけたということです。また、パソコンを使用された方からは、URL を入れるのに時間がかかったとの声がありました。お手数をおかけしました。今後、動画の QR コードの数や資料の QR コードの間隔、URL の配信等、対処方法を考えてまいります。

たくさんのご感想、ご意見ありがとうございました。  
来年度に向けて検討してまいります。

